

不法投棄された自転車を 引き上げました!



ありとあらゆる部分に水が入り、しかもさまざまな付着物のついた自転車はとても重く、棧橋に掲げるのもひと苦労。撮影:本田秀一

さまざまな付着物で 現代アートのような自転車

5/21(土)、主催:NPO法人海の森・山の森事務局、横浜SUP倶楽部、協力:横浜リパークリナー倶楽部、神奈川県警、活動助成:公益財団法人イオン環境財団にて、大岡川に不法投棄された自転車の引き上げ作業を行いました。

当日は、あいにく東京湾から大岡川河口に赤潮が流入し、川面がコーヒ色に濁り、船上から目視探索が全くできない状況でした。が、川を熟知したSUPチームの記憶を頼りに、以前自転車を目撃した辺りの川底を手探りし、4台の自転車を引き上げました。

何年も川底に沈み、金属部分は錆び、カラス貝などが付着した自転車は、現代アートのような姿で次々と引き上げられました。

日ノ出町、黄金町、吉田町、伊勢佐木町などの繁華街を控える大岡川河口付近は、酔っぱらいなどによる自転車の投げ入れ、または盗難自転車の投げ込みなどが頻発し、多数の自転車が川底に沈んでいます。沈んだ自転車からは油分をはじめ、プラスチック部品が崩壊してマイクロプラスチックの元となって流出します。また潮が引くと川底の突起物として、川を走行する小型船やSUP、カヌーなどに接触する危険性もあります。環境保全、そして航行安全のために、自転車引き上げは、これからも取り組んでいきます。

引き上げられた自転車は、待機いただいた神奈川県警に、1台ずつ自転車登録番号を調べ、盗難届の有無をリアルタイムでチェックされました。この日引き上げられた自

転車は、すべて事件性のないものと判明し、事前要請先の横浜市資源循環局に廃棄物として引き取っていただきました。



この日の作業のために集まった方々。このあと、ゴミ拾いも行ないました。撮影:本田秀一



引き上げられた自転車は1台ずつ神奈川県警によって調べられました。撮影:本田秀一

不思議屋水族館

文/門島昌美
写真/豊田直之

水源地の山を下り麓の街を蛇行しながら流れる古い川の河口近く、港を臨む場所に、その方フェーバーはある。店の巨大な水槽をへだてて、時に客は、人生を終えて海に還り海に生きる者たちと、会ふことができる。看板もない、ひっそりとしたこの店のことを、いつしか人は「不思議屋水族館」と呼ぶようになった。



シズミソコケギンボ (幼馴染みのマキオ)

プツ、なんだ、その格好。似合わねー……ええっ?付き合ってる彼女の親に「キチンとしろ」って言われたからって、いきなりバリッとスーツかよ……お前も、落ち着かねーだろう。だいたい生き物ってのは、その性質

……けど、人間ってのは裸じやいられねー生き物だから、諦めつかなく厄介だよな。見栄やら不安やらで、

お帰りでですか……いつてらっしゃい……またのお越しをお待ち申し上げます。

……ありがとな……また来いよ。

……一生浮いてろ!

でも、苦しんでる時に、オレのこと思い出してくれて嬉しかったよ

……ありがとな……また来いよ。

……ありがとな……また来いよ。

……ありがとな……また来いよ。

……ありがとな……また来いよ。

……ありがとな……また来いよ。

……ありがとな……また来いよ。

……ありがとな……また来いよ。

……ありがとな……また来いよ。

Close-up Supporter



聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長 工藤 誠一さん

クローズアップサポーター

水取沢を源流に、横浜港に流れ込む大岡川はまさに横浜市民のふるさと。花筏舞うこの川の心安らぐ環境を、市民の力で保全してゆきましょう。この大岡川を、国際観光都市・環境未来都市ヨコハマにふさわしいロケーションに整えて行く活動を、私個人はもちろん、聖光学院は学校をあげて応援します。頑張ってください。

この新聞制作にご支援 いただいている方々

(順不同、敬称略)
五十嵐秀典(港南区)、木野和江(東京都)、福岡達也(中区)、村田俊哉(磯子区)、中野正樹(泉区)、東郷新(東京都)、福永秀樹(港北区)、藤原圭子(中区)、海老名幸晴(港南区)、林宏一(金沢区)、濱西匠悟(富山県)、工藤誠一(鶴見区)、杉原善朗(中区)、片山かなみ(戸塚区)、野島和美(東京都)、豊田有希(港北区)、柴垣正弘(中区)、杉田淳(東京都)、田淵正道(川崎市)、小野守健(青葉区)、浅木克

患者様お一人お一人に合わせた
ストレスのない診療を心がけています。

産婦人科
不妊専門

完全予約制

馬車道レディースクリニック

神奈川県横浜市中区相生町4-65-3 馬車道メディカルスクエア5F
TEL 045-228-1680 FAX 045-228-1681 <http://www.bashamichi-lc.com/>
JR・市営地下鉄線 関内駅より徒歩2~5分 みなとみらい線 馬車道駅より徒歩2分

新聞サポーター& スポンサー募集

『Oh!Okagawa News(年4回、各回3,000部発行)』では、新聞サポーター(¥500×4号=¥2,000の寄付)を募集しています。サポーターの皆様には、氏名を掲載させていただき『Oh!Okagawa News』を1年間毎月1部郵送いたします。また、広告スポンサーも募集中です。詳細については「NPO法人海の森・山の森事務局」info@uminomori-yamanomori.comまでお問い合わせください。